

## 【表紙】

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                           |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項               |
| 【提出先】      | 関東財務局長                           |
| 【提出日】      | 平成26年7月30日                       |
| 【四半期会計期間】  | 第16期第3四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日） |
| 【会社名】      | 株式会社アスコット                        |
| 【英訳名】      | Ascot Corp.                      |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長執行役員CEO 加賀谷 慎二            |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都新宿区新宿一丁目7番1号                  |
| 【電話番号】     | 03-5363-7762（代表）                 |
| 【事務連絡者氏名】  | 経営管理部長 豊泉 謙太郎                    |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都新宿区新宿一丁目7番1号                  |
| 【電話番号】     | 03-5363-8426                     |
| 【事務連絡者氏名】  | 経営管理部長 豊泉 謙太郎                    |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                             |      | 第15期<br>第3四半期連結<br>累計期間            | 第16期<br>第3四半期連結<br>累計期間            | 第15期                               |
|--------------------------------|------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 会計期間                           |      | 自平成24年<br>10月1日<br>至平成25年<br>6月30日 | 自平成25年<br>10月1日<br>至平成26年<br>6月30日 | 自平成24年<br>10月1日<br>至平成25年<br>9月30日 |
| 売上高                            | (千円) | 5,512,715                          | 1,485,986                          | 7,654,608                          |
| 経常利益金額又は経常損失金額( )              | (千円) | 60,449                             | 52,961                             | 158,974                            |
| 当期純利益金額又は四半期純損失金額( )           | (千円) | 76,376                             | 53,808                             | 160,551                            |
| 四半期包括利益又は包括利益                  | (千円) | 74,129                             | 53,436                             | 162,710                            |
| 純資産額                           | (千円) | 332,982                            | 516,541                            | 569,822                            |
| 総資産額                           | (千円) | 4,513,947                          | 4,599,355                          | 4,090,131                          |
| 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( ) | (円)  | 3.23                               | 2.28                               | 6.80                               |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額       | (円)  | -                                  | -                                  | 6.79                               |
| 自己資本比率                         | (%)  | 7.4                                | 11.2                               | 13.9                               |

| 回次               |     | 第15期<br>第3四半期連結<br>会計期間           | 第16期<br>第3四半期連結<br>会計期間           |
|------------------|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間             |     | 自平成25年<br>4月1日<br>至平成25年<br>6月30日 | 自平成26年<br>4月1日<br>至平成26年<br>6月30日 |
| 1株当たり四半期純損失金額( ) | (円) | 3.57                              | 2.55                              |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第15期第3四半期連結累計期間及び第16期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を、従来までの「分譲マンション開発事業」及び「不動産ソリューション事業」から、「不動産開発事業」及び「不動産ソリューション事業」に変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)セグメント情報 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク及び前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外情勢の不安定感や新興国における経済成長の鈍化、国内における消費税増税による消費低迷の懸念など、先行に不透明感はあるものの、政府の経済政策及び日本銀行による金融政策を背景に、企業業績が改善傾向にあるなど、緩やかな景気の回復基調が継続しております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、首都圏における分譲マンション市場では、契約率が好不調の目安とされる70%を超える水準で推移する など引き続き底堅い需要が見られます。また、収益不動産市場では、東京都心5区において、引き続きオフィスビルの平均空室率は低下傾向にあり、平均賃料は上昇傾向にあります。一方で、不動産価格や建築コストが上昇基調にあり仕入コストの上昇も懸念されていることから、今後の市場の動向については予断を許さない状況となっております。

このような事業環境の中、当社グループは、不動産開発事業においては当連結会計年度に引渡予定の「ASCOT PARK 両国BLOOM」が売却（契約率100.0%）し、不動産ソリューション事業においては収益不動産開発1棟及びリセール物件1棟を売却しております。一方で、不動産開発事業において分譲マンション開発用地1物件及び戸建・アパート開発用地3物件ならびに不動産ソリューション事業のソリューションにおいてリセール物件3棟を取得するなど、将来収益獲得に向けた着実な仕入活動を行っております。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,485百万円（前年同期比：4,026百万円減）、営業利益12百万円（前年同期比：31百万円減）、経常損失52百万円（前年同期：経常損失60百万円）、四半期純損失53百万円（前年同期：四半期純損失76百万円）となりました。

#### 民間調査機関調べ

セグメントの業績の概要は、以下のとおりであります。なお、各セグメントの売上高の金額は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めない数値を記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、戸建開発を再開したこと等に伴い、従来の「分譲マンション開発事業」を「不動産開発事業」へ名称を変更しております。

#### （不動産開発事業）

当第3四半期連結累計期間における不動産開発事業の売上高はなく（前年同期比：2,345百万円減）、営業損失は63百万円（前年同期：営業利益503百万円）となりました。

不動産開発事業においては、分譲マンション開発4物件、戸建開発2物件及びアパート開発1物件の開発を推進しております。なお、当連結会計年度においては「ASCOT PARK 両国BLOOM」（総戸数20戸）の竣工引渡を予定しており、本書提出日現在の契約率は100.0%となっております。

#### （不動産ソリューション事業）

当第3四半期連結累計期間における不動産ソリューション事業の売上高は1,477百万円（前年同期比：1,685百万円減）、営業利益は246百万円（前年同期：営業損失30百万円）となりました。当社グループの不動産ソリューション事業は、収益不動産開発ならびにソリューション等に分かれており、その売上高及び営業利益は次のとおりであります。

#### 収益不動産開発

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,061百万円（前年同期比：674百万円減）、営業利益は44百万円（前年同期比：16百万円減）となりました。

収益不動産開発においては、店舗・オフィスビルの「AUSPICE元浅草」（東京都台東区）1棟を売却しております。なお、第2四半期連結会計期間において開発中の1物件が竣工しており、安定収益として賃料収入を獲得しております。

## ソリューション

当第3四半期連結累計期間の売上高は153百万円（前年同期比：1,217百万円減）、営業利益は12百万円（前年同期：営業損失65百万円）となりました。

リセール物件3棟を取得し、そのうち1棟を売却しております。

## 不動産コンサルティング、不動産仲介

当第3四半期連結累計期間の売上高は263百万円（前年同期比：206百万円増）、営業利益は188百万円（前年同期：営業損失26百万円）となりました。

主に、不動産売買媒介における仲介手数料収入等を計上しております。

## （その他事業）

当第3四半期連結累計期間の売上高は7百万円（前年同期比：4百万円増）、営業損失は30百万円（前年同期：営業損失301百万円）となりました。

その他事業におきましては、主に保険代理店手数料収入等の手数料収入を計上しております。

## (2) 財政状態の分析

### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は4,599百万円（前連結会計年度末：4,090百万円）となり、前連結会計年度末と比較して509百万円の増加となりました。

流動資産は2,219百万円（前連結会計年度末：1,908百万円）となり、前連結会計年度末と比較して311百万円の増加となりました。

主な増加要因として、不動産開発事業において開発用地4物件を取得したこと等により、仕掛販売用不動産が819百万円（前連結会計年度末：23百万円）となり前連結会計年度末と比較して795百万円増加したこと、社債を発行したこと等により、その他が304百万円増加したこと等によります。

一方で主な減少要因として、不動産ソリューション事業におけるソリューションのリセール物件3棟を取得しましたが、収益不動産開発1棟及びリセール物件1棟を売却したこと等により、販売用不動産が715百万円（前連結会計年度末：949百万円）となり、前連結会計年度末と比較して234百万円減少したこと、不動産開発事業及び不動産ソリューション事業における建築代金の支払い等により、現金及び預金残高が161百万円（前連結会計年度末：716百万円）となり、前連結会計年度末と比較して555百万円減少したことによります。

固定資産は2,379百万円（前連結会計年度末：2,181百万円）となり、前連結会計年度末と比較して197百万円の増加となりました。主な要因として、建築中でありました収益不動産開発1棟が竣工したこと等により、有形固定資産のその他（純額）が443百万円（前連結会計年度末：249百万円）となり、前連結会計年度末と比較して193百万円増加したことによります。

### （負債の部）

当第3四半期連結会計期間末の負債は4,082百万円（前連結会計年度末：3,520百万円）となり、前連結会計年度末と比較して562百万円の増加となりました。

流動負債は1,713百万円（前連結会計年度末：2,136百万円）となり、前連結会計年度末と比較して423百万円の減少となりました。主な要因として、不動産ソリューション事業のリセール物件取得に伴い短期借入金が660百万円増加したものの、不動産ソリューション事業における物件を売却したことに伴う借入金の返済等により1年内返済予定の長期借入金が912百万円減少したこと、1年内償還予定の社債200百万円を償還したこと等によります。

固定負債は2,369百万円（前連結会計年度末：1,383百万円）となり、前連結会計年度末と比較して986百万円の増加となりました。主な要因として、不動産開発事業における開発用地の取得及び不動産ソリューション事業におけるリセール物件の取得に伴い借入金が増加したこと、ならびに社債を発行したこと等によります。

### （純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は516百万円（前連結会計年度末：569百万円）となり、前連結会計年度末と比較して53百万円の減少となりました。主な要因として、四半期純損失の計上により利益剰余金が53百万円減少したこと等によります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 50,000,000  |
| 計    | 50,000,000  |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間末<br>現在発行数(株)<br>(平成26年6月30日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成26年7月30日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容            |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 23,620,604                             | 23,620,604                  | 東京証券取引所<br>JASDAQ<br>(スタンダード)      | 単元株式数<br>100株 |
| 計    | 23,620,604                             | 23,620,604                  | -                                  | -             |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年7月1日から本書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                      | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金<br>増減額<br>(千円) | 資本金<br>残高<br>(千円) | 資本準備金<br>増減額<br>(千円) | 資本準備金<br>残高<br>(千円) |
|--------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|-------------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年4月1日～<br>平成26年6月30日 | -                     | 23,620,604           | -                  | 1,434,638         | -                    | 1,132,010           |

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

| 区分             | 株式数(株)          | 議決権の数(個) | 内容         |
|----------------|-----------------|----------|------------|
| 無議決権株式         | -               | -        | -          |
| 議決権制限株式(自己株式等) | -               | -        | -          |
| 議決権制限株式(その他)   | -               | -        | -          |
| 完全議決権株式(自己株式等) | -               | -        | -          |
| 完全議決権株式(その他)   | 普通株式 23,619,500 | 236,195  | 単元株式数 100株 |
| 単元未満株式         | 普通株式 1,104      | -        | -          |
| 発行済株式総数        | 23,620,604      | -        | -          |
| 総株主の議決権        | -               | 236,195  | -          |

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

| 役名    | 職名 | 氏名   | 退任年月日      |
|-------|----|------|------------|
| 社外取締役 | -  | 井熊 実 | 平成26年4月28日 |

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成25年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                         |                              |
| 流動資産          |                         |                              |
| 現金及び預金        | 716,772                 | 161,471                      |
| 売掛金           | 7,761                   | 8,889                        |
| 販売用不動産        | 949,878                 | 715,735                      |
| 仕掛販売用不動産      | 23,731                  | 819,128                      |
| 貯蔵品           | 292                     | 257                          |
| その他           | 210,723                 | 514,953                      |
| 貸倒引当金         | 857                     | 814                          |
| 流動資産合計        | 1,908,302               | 2,219,621                    |
| 固定資産          |                         |                              |
| 有形固定資産        |                         |                              |
| 土地            | 1,860,772               | 1,860,772                    |
| その他(純額)       | 249,642                 | 443,064                      |
| 有形固定資産合計      | 2,110,414               | 2,303,836                    |
| 無形固定資産        |                         |                              |
| その他           | 1,823                   | 1,411                        |
| 無形固定資産合計      | 1,823                   | 1,411                        |
| 投資その他の資産      | 69,591                  | 74,486                       |
| 固定資産合計        | 2,181,829               | 2,379,734                    |
| 資産合計          | 4,090,131               | 4,599,355                    |
| 負債の部          |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 買掛金           | 63,851                  | 131,082                      |
| 短期借入金         | -                       | 660,000                      |
| 1年内償還予定の社債    | 200,000                 | -                            |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,705,201               | 792,384                      |
| 未払法人税等        | 4,690                   | 2,491                        |
| 賞与引当金         | 2,283                   | 467                          |
| その他           | 160,743                 | 126,702                      |
| 流動負債合計        | 2,136,770               | 1,713,127                    |
| 固定負債          |                         |                              |
| 社債            | -                       | 300,000                      |
| 長期借入金         | 1,345,448               | 2,025,996                    |
| その他           | 38,090                  | 43,791                       |
| 固定負債合計        | 1,383,539               | 2,369,787                    |
| 負債合計          | 3,520,309               | 4,082,915                    |



(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成25年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>純資産の部</b>  |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 1,434,611               | 1,434,638                    |
| 資本剰余金         | 1,134,408               | 1,134,435                    |
| 利益剰余金         | 1,991,752               | 2,045,561                    |
| 株主資本合計        | 577,266                 | 523,512                      |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| 為替換算調整勘定      | 7,444                   | 7,072                        |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,444                   | 7,072                        |
| 純資産合計         | 569,822                 | 516,439                      |
| 負債純資産合計       | 4,090,131               | 4,599,355                    |

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                    | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成24年10月1日<br>至平成25年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年10月1日<br>至平成26年6月30日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高                | 5,512,715                                    | 1,485,986                                    |
| 売上原価               | 5,098,034                                    | 1,142,405                                    |
| 売上総利益              | 414,680                                      | 343,581                                      |
| 販売費及び一般管理費         | 371,011                                      | 331,226                                      |
| 営業利益               | 43,669                                       | 12,355                                       |
| 営業外収益              |  |  |
| 受取利息               | 37   | 62   |
| 受取配当金              | 297  | 297  |
| 違約金収入              | 2,962  | -  |
| 貸倒引当金戻入額           | 442  | 43   |
| 賞与引当金戻入額           | 708  | 717  |
| その他                | 337  | 27   |
| 営業外収益合計            | 4,786  | 1,148  |
| 営業外費用              |  |  |
| 支払利息               | 104,789                                      | 63,150                                       |
| その他                | 4,117  | 3,313  |
| 営業外費用合計            | 108,906                                      | 66,464                                       |
| 経常損失( )            | 60,449                                       | 52,961                                       |
| 特別利益               |  |  |
| 新株予約権戻入益           | 1,350  | -  |
| 特別利益合計             | 1,350  | -  |
| 特別損失               |  |  |
| 固定資産除却損            | 863  | -  |
| 本社移転費用             | 7,434  | -  |
| 特別損失合計             | 8,297  | -  |
| 税金等調整前四半期純損失( )    | 67,397                                       | 52,961                                       |
| 法人税等               | 9,290  | 847  |
| 少数株主損益調整前四半期純損失( ) | 76,687                                       | 53,808                                       |
| 少数株主損失( )          | 310  | -  |
| 四半期純損失( )          | 76,376                                       | 53,808                                       |

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                    | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成24年10月1日<br>至 平成25年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成25年10月1日<br>至 平成26年6月30日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失( ) | 76,687   | 53,808   |
| その他の包括利益           |  |  |
| 持分法適用会社に対する持分相当額   | 2,557  | 372  |
| その他の包括利益合計         | 2,557  | 372  |
| 四半期包括利益            | 74,129   | 53,436   |
| (内訳)               |  |  |
| 親会社株主に係る四半期包括利益    | 73,818   | 53,436   |
| 少数株主に係る四半期包括利益     | 310  | -  |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社は、当社保有の土地を売却したことに伴い、買主に対して、本物件についての土壌汚染、地下汚染、PCB、アスベスト等が存在した場合には、引渡日より2年間に限り、17,689千円を限度とする瑕疵担保責任を負担しております。なお、現時点では、当該損失が発生する可能性は不明であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

|       | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成24年10月1日<br>至 平成25年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成25年10月1日<br>至 平成26年6月30日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 29,891千円                                       | 15,249千円                                       |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                       | 報告セグメント     |                  |           | その他<br>(注)1 | 合計        | 調整額<br>(注)2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注)3 |
|-----------------------|-------------|------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
|                       | 不動産<br>開発事業 | 不動産<br>ソリューション事業 | 計         |             |           |             |                               |
| 売上高                   |             |                  |           |             |           |             |                               |
| 外部顧客への売上高             | 2,345,237   | 3,163,706        | 5,508,943 | 3,771       | 5,512,715 | -           | 5,512,715                     |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | -           | -                | -         | 1,551       | 1,551     | 1,551       | -                             |
| 計                     | 2,345,237   | 3,163,706        | 5,508,943 | 5,323       | 5,514,266 | 1,551       | 5,512,715                     |
| セグメント利益又は損失<br>( )    | 503,375     | 30,735           | 472,639   | 301,632     | 171,007   | 127,337     | 43,669                        |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産ファンド等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 127,337千円は、セグメント間消去 261千円と各報告セグメントに配分していない全社費用 127,076千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

|                       | 報告セグメント     |                  |           | その他<br>(注)1 | 合計        | 調整額<br>(注)2 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注)3 |
|-----------------------|-------------|------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
|                       | 不動産<br>開発事業 | 不動産<br>ソリューション事業 | 計         |             |           |             |                               |
| 売上高                   |             |                  |           |             |           |             |                               |
| 外部顧客への売上高             | -           | 1,477,991        | 1,477,991 | 7,995       | 1,485,986 | -           | 1,485,986                     |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | -           | -                | -         | 5,321       | 5,321     | 5,321       | -                             |
| 計                     | -           | 1,477,991        | 1,477,991 | 13,316      | 1,491,308 | 5,321       | 1,485,986                     |
| セグメント利益又は損失<br>( )    | 63,067      | 246,158          | 183,091   | 30,583      | 152,507   | 140,152     | 12,355                        |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産ファンド等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失( )の調整額 140,152千円は、セグメント間消去 66千円と各報告セグメントに配分していない全社費用 140,086千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、戸建開発を再開したこと等に伴い、従来の「分譲マンション開発事業」を「不動産開発事業」へ名称を変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、「不動産ファンド事業」の重要性が乏しくなったため、当該事業を「その他」に含んでおります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|   | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成24年10月1日<br>至平成25年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成25年10月1日<br>至平成26年6月30日) |
|---|--|--|
| 1株当たり四半期純損失金額( )  | 3円23銭  | 2円28銭  |
| (算定上の基礎)  |  |  |
| 四半期純損失金額( )(千円)   | 76,376                                       | 53,808                                       |
| 普通株主に帰属しない金額(千円)  | -  | -  |
| 普通株式に係る四半期純損失金額( )(千円)  | 76,376                                       | 53,808                                       |
| 普通株式の期中平均株式数(株)   | 23,620,004                                   | 23,620,142                                   |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 |  |  |

(注) 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(国内無担保普通社債の発行)

当社は、平成26年6月18日開催の取締役会において国内無担保普通社債の発行を決議し、平成26年7月1日に発行価額全額の払込が完了しております。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年7月30日

株式会社アスコット

取締役会 御中

### アスカ監査法人

|                |       |       |   |
|----------------|-------|-------|---|
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 田中大丸  | 印 |
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 石渡裕一朗 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスコットの平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスコット及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。